

15 避難する時の注意点（移動の方法）

日常、避難する時の行動を考えておくことが大切です

みんなで歩いて避難する

- 基本は徒歩で避難します。浸水深が30cm以上では車の走行が困難になります。
- 風雨が強くなる前に、早期に行動してください。
- 動きやすい格好で、ご家族や近所の方と複数人で避難しましょう。

足元に注意する

- 長靴は中に水が入ると重くなって歩きにくくなります。
安全のためにもはきなれた運動靴で避難しましょう。
- 足元が水に浸かって見えにくい場合は、マンホール、側溝や用・排水路等に落ちないように、杖や棒などで確認しながら歩きましょう。 <平塚市 HP等>

避難する時の注意点（避難場所への携行品等）

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため

- できる限り避難される前に体温を測定し、ご自身の体調について確認をお願いいたします。 <神奈川県専用ダイヤル 0570-056774 >
- コロナ感染の疑いがある場合には、ご自宅での安全確保のうえ、かかりつけ医、感染症専用ダイヤルへご相談いただきますようお願いいたします。

一般的な携行品 飲料水 食料 貴重品 健康保険証 等

コロナへの対応 マスク 消毒液 ウェットティッシュ 上履き
 ペーパータオル タオル・手ぬぐい 体温計 ビニール袋 等

* ご自身で特に必要とする物品のご用意をお願いいたします。 <平塚市 HP等>

金田小学校避難場所の備蓄品（風水害用）

- プライベートルーム（組み立て式居住スペース）
- 毛布（状況に応じて使用可能）
- エアーマット（敷物を希望する方へ貸し出す）
- <避難場所運営マニュアル>

16

避難の行動計画(タイムライン)

台風の襲来に備えて、とるべき行動と避難までどうするか、時間を追って考えてみよう

台風襲来	行政などの情報	取るべき行動(準備する事柄)
台風発生	発生状況	・予想される規模(ヘクトパスカル、風力等)、進路の予想
4日前	かなり強い勢力 (日本上陸可能性大)	・予想される規模(ヘクトパスカル、風力等)、進路の予想
3日前	非常に強い勢力 (特別警報級の台風)	最大級の警戒
2日前	大型・非常に強い (接近前に準備完了)	神奈川県・直撃情報
1日前	大型・非常に強い	神奈川県・上陸確定
10時間前	警戒レベル3発令 「高齢者等避難」	・自治会、プロモート会員：ホットライン、要支援者に発令を伝達 分散避難() 小学校避難場所へ避難
5時間前	警戒レベル4発令 「避難指示」	分散避難() 小学校避難場所へ避難
1時間前	警戒レベル5発令 「緊急安全確保」	
台風上陸	金目川、鈴川の氾濫	命を守るために、氾濫情報の前に避難を完了させる

● 家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号

● 避難先になりうる親戚・知人・近隣

名前	電話番号

台風の接近・襲来に備えて、自分自身や家族がとるべき準備・行動について「誰が」「何を」「どのように」するか等をあらかじめ時間をおって考え、記します。

平塚市は、テレビ・ラジオ・スマホ・インターネット等を通じて災害情報・気象情報等を発信します。すすんで情報を入手し「早めの避難」「落ち着いた行動」に心がけましょう。

気象情報・避難情報等



テレビ、ラジオ



NHKのdボタン



自治体の
ホームページ



自治体による
防災無線



広報車、消防団に
よる広報



緊急速報メール



平塚市 HP トップ画面

「ひらつか防災気象ウェブ」

- クリックして画面を出す
- 次の事項が分かります
 - ・ 防災マップ
 - 東橋の水位
 - 東橋のライブカメラ
 - ・ 防災情報
 - ・ 一般気象情報
 - ・ お知らせ

災害/防災/緊急情報

- > 新型コロナワクチン集団接種コールセンターへの電話のかけ間違いが多発しています
- > 平塚市内の新型コロナウイルス感染症患者の発生状況
- > 災害時の情報収集

平塚市の最新気象情報

ひらつか防災気象ウェブ



気象庁のHP トップ画面



国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

コンテンツの閲覧方法について (よくお寄せいただくご質問)

防災情報 天気 キキクル (危険度分布) 大雨・台風 地震・火山

被災地域への支援情報

- 防災情報
- 天気
- 大雨・台風
- キキクル (危険度分布)

○ 見たい情報をクリックします

- 防災情報 天気予報・アメダス
- 天気 天気予報・アメダス
- キキクル (危険度分布)
 - 雨雲の動き・浸水危険度分布
 - 洪水危険度分布
- 大雨・台風
 - 大雨警報、注意報
 - 台風の進路

金目川水系の範囲



緑色の範囲が金目川水系で、丹沢山地の稜線の南東部の諸河川が含まれ、この地域から大量の河川水が金目川に流入しています。

<平塚市博物館 「金目川の博物誌」>

金目川の扇状地



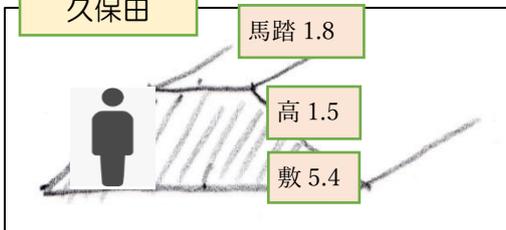
図2 金目川扇状地の地形 (昭和52年 1/10,000 平塚市地形図より作図, 森 1993)

金目川が東方に流れ、流域一帯は土屋橋付近を頂点とする扇状地地形です。鈴川と南の旭方面に高度が低くなり、金目川の流れとなります。

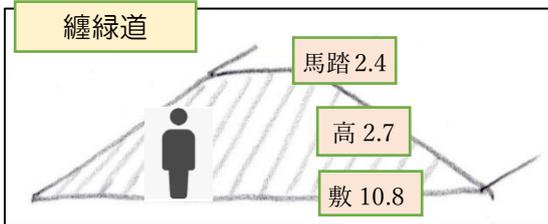
控え土手の規模

(単位 m)

久保田



纏緑道



東海道新幹線 築堤と高架方式



地元の要望は金目川まででしたが、国鉄と交渉の結果、東橋付近から駐在所まで、洪水による滞水を防ぐ高架方式がとられました。

鈴川 台風による増水



金目川 台風による増水



地震防災

東南海・南海地震、首都直下地震等、近年、巨大地震発生に関する情報が多々報道されています。日本は、世界的に見て地震の多い国です。大きな揺れによる家屋の倒壊、乱雑とした屋内、火災の発生、壊滅するライフライン、増大する災害死等々、地震の発生による深刻な被害への心配は数知れません。

被害を想定し立ち向かうためには、今から、家屋の耐震性。家具の固定と転倒防止。ガラス飛散防止。失火防止。簡易トイレの備え。食料の備蓄。家族との安否確認の方法。等々、個々人が前もって検討し対応することが肝要です。

私たちの住む寺田縄地域は、No.12、18 に示した通り、金目川が造った扇状地、及び、後背湿地といわれる地形が主です。地震の揺れに強固な地盤とは言えません。特に、宅地化された旧水田地帯は、液状化の発生や揺れの増幅が懸念されます。

「地震は避けることはできませんが、備えることはできます」

寺田縄自治会・防災会は、起こりうる地震に対して、組織的に即応することを検討しています。金田小学校避難所の運営に参加し協力する。寺田縄地震対策本部を設立し、発災後の活動をすすめます。

地震発災の前後、安全で安心できる住みやすい寺田縄にするためには、数多くの自治会員皆様のご理解、ご協力、ご助力が必要となります。

そして、地域で皆様との活動を通して、「自分の命と、大切な人の命を守る」行動を、ともに作り上げてまいりましょう。

2022(令和4)年4月

私たちの避難

寺田縄自治会・防災会
(文責: 防災会片山興大)